

2025.7.16

第3回市民・有識部会

資料第1号

# 第6次尼崎市総合計画の点検について

尼崎市 都市政策課

# 進め方

## 【本日のプログラム】

- ① グループで自己紹介、アイスブレイク
- ② 本日の趣旨・進め方説明
- ③ 事務局からの説明＋ディスカッション①（施策８）
- ④ 事務局からの説明＋ディスカッション②（施策９）
- ⑤ 事務局からの説明＋ディスカッション③（施策１０）
- ⑥ 事務局からの説明＋ディスカッション④（施策１１～１２）
- ⑦ 事務局からの説明＋ディスカッション⑤（施策１３）
- ⑧ ふりかえり、チェックアウト



# グループで自己紹介とアイスブレイク



## **本日の趣旨と進め方説明**

# 進め方

## 【本日お願いしたいこと】

- ・第6次総合計画の点検をお願いします。
- ・令和7年度まで点検を行い、令和8年度から「後期計画の策定」を進めていく予定です。
- ・今回で「修正内容」まで決める必要はなく、再検討が必要な箇所の洗い出しとお考え下さい。
- ・今日取り上げるのは、**P.60-71「施策8～施策13」**です。

## 【専門部会と市民・有識部会の役割分担について】

### ＜市民・有識部会＞

- ・尼崎での生活や活動を通じて感じることを基に、計画が実感に合うか等を確認
- ・感覚や経験に基づいて、感覚とのズレ・記載がない新たなニーズ等にコメントをいただく

### ＜専門部会＞

- ・それぞれのご専門の分野の観点から、計画の内容が適切か等を確認
- ・アップデートや追記・修正が必要と思われる個所にコメントをいただく



# 施策の点検方法について

## 施策

# 1

## 地域コミュニティ・学び

### 1 現状と課題

#### 現状(成果)

##### 自治のまちづくりの推進

平成28年(2016年)10月にまちづくりのルールである「尼崎市自治のまちづくり条例」を制定しました。

##### シチズンシップの向上とシビックプライドの醸成

まちづくりの推進に当たっては、一人ひとりが当事者としてかかわっていくというシチズンシップの向上と、地域に対して誇りと愛着を持つシビックプライドの醸成が重要であるという認識のもと、まちの魅力向上、課題解決に向けてさまざまな取組を推進してきました。

##### 地域復興体制の再構築

「尼崎市自治のまちづくり条例」の理念にもとづき、小学校区に1人の地域担当職員を配置し、地域資源情報を分野やエリアごとに検索できるサイト「あましまあ\*」なども活用しながら多様な主体間での関係づくりや地域発展の課題解決、魅力向上に向けた取組を推進しています。

##### 学びと活動の拠点整備

「市民の交流・学習」、「子どもの育ち」、「教職員の人材育成」が有機的に連携した「あまがきき・ひとあきプラザ」を整備するとともに、公民館と地区会館を学びと活動を支えるための施設である生涯学習プラザとして市内12か所に整備し、学びの機会の充実や活動の創出などに取り組んでいます。

##### 地域資源を生かした文化展開

本市では「文化ビジョン」を策定し、過去から受け継がれてきた伝統的な祭りや行事、本市ゆかりの文化人などをさまざまな地域資源を生かし、まちの魅力と活力の向上に向けた文化展開に取り組んでいます。

##### 歴史博物館の開設

令和2年(2020年)10月に文化財収蔵庫と地域研究史料館の機能を併せ持つ歴史博物館を開館しました。歴史博物館は、豊かな歴史や文化を理解し、未来を展望する学びの場として歴史遺産を後世に伝える役割を持っています。

##### 「スポーツのまち尼崎」に向けて

本市では市制施行80周年(1996年)に「スポーツのまち尼崎」を掲げており、令和元年度(2019年度)に策定した「スポーツ推進計画」にもとづき、生涯スポーツの推進と、競技力の向上に取り組んでいます。

#### 主な課題

##### 地域コミュニティの醸成に向けた取組

地域における人と人とのつながりが希薄化する一方で、インターネットやSNSの普及により人々のライフスタイルが多様化しています。そういった状況において、地域発意や共感、相互理解が広がり、地域におけるつながりの大切さを再認識していくことが課題です。



##### まちに学びをまき起こす

地域の魅力向上、課題解決に向け、自発的な学びが大切であることから、これまで「みんなの尼崎大学」など学びの環境づくりを行っていましたが、今後も地域の学びのプラットフォーム機能の充実・進化が求められます。

##### 文化・歴史・スポーツに触れる機会の増加

文化・歴史・スポーツの発展のためには、「見る」「する」「伝える」という視点を踏まえ、誰もがこれらに触れる機会を十分に確保し、学びや活動を支える環境づくりを行い、地域資源としての魅力を創出し、高める必要があります。また、施設の維持管理や運営体制の充実が課題です。



##### 博物館・図書館・公文書館機能の有機的な連携

文化的な情報資源の収集・蓄積・提供という共通の役割を担う、公文書館の機能を有する歴史博物館と図書館はより使いやすく親しみやすい施設となるために有機的な連携が課題です。

## まちづくり基本計画／施策別の取組(各論)

### 施策目標

まちにかかわるすべての人が、ともに学び、考え、お互いの力を出し合う自治のまちづくりを推進することで、まちへの愛着を深め、魅力あふれるまちをめざします

### 2 施策の展開方向

#### (1) 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

- ① 多様な主体による地域発意の取組や地域コミュニティを支える仕組みづくり
- ② まちのいたる所で展開される学びと活動を支える環境づくり
- ③ 地域と学校の連携・協働の推進
- ④ 図書館を通じた市民の学習活動の支援、交流の機会の提供や図書館を拠点とする図書館サービス網の充実

#### (3) 歴史遺産の継承と学びの充実

- ① 尼崎の歴史に触れる機会の拡充と魅力の発信
- ② 歴史遺産を守り、活用しながら継承していく取組の推進
- ③ 地域の歴史を学び、活動する市民を支える取組の推進

#### (2) まちの魅力を高める文化芸術活動の推進

- ① 若い人の夢とチャレンジの応援
- ② はぐくまれてきた歴史・伝統・文化の継承・発展
- ③ 市民の芸術体験を支える取組の推進

#### (4) スポーツに親しむ機会の充実

- ① ライフステージや体力などに応じた生涯スポーツの推進
- ② 各種スポーツ大会・イベントを通じた競技スポーツの推進

### 3 施策の進捗状況を測る代表指標



#### ■ 分野別マスタープランなど

尼崎市立図書館基本計画  
文化ビジョン  
スポーツ推進計画

#### ■ 施策策で関連する主な分野別マスタープラン

【地域振興】多文化共生 尼崎市人権文化いきづなまちづくり計画、尼崎市国際化基本方針  
【まちづくり】尼崎市都市計画マスタープラン  
【子ども・子育て支援】尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画  
【地域振興】あまがきまちづくり推進計画  
【経済・産業】尼崎市産業振興計画、介護保険事業計画  
【まちづくり】尼崎市都市計画マスタープラン、尼崎市立図書館基本計画  
【まちづくり】尼崎市都市計画マスタープラン、尼崎市立図書館基本計画  
【まちづくり】尼崎市都市計画マスタープラン、尼崎市立図書館基本計画

## 1. 現状と課題

策定時点の本市の現状と課題について記載しています。

### ① 事務局説明

まず事務局から、現状と課題の項目について簡単に説明します。必要に応じて、近年の国の法改正の動向など、最近の社会課題や話題になっている事等があればご説明します。

### ② いただきたいコメント

- 「現状と課題」にある項目について、
- ・ 最近の社会のようす、トレンド
  - ・ 新しく出てきた課題や、話題になっていること
  - ・ 記載内容に必要なアップデート
  - ・ 課題解決における注意点・・・など

## 2. 施策の展開方向／3. 代表指標

施策の展開方向については、今後、内部で施策の分類や方向性、評価手法等を検討させていただき、令和8年度の後期計画策定段階で、ご審議いただければと考えています。

指標の設定や評価手法については現在検討中です。また別途ご審議いただきますが、現時点でご意見やコメントがあればお願いします。

※ 展開方向や指標は今後変更の可能性があるので、別途審議させていただきます。



# 施策08～13

(P.60～P.71)

## 本日の点検内容（タイムテーブル）

- |                  |               |                  |
|------------------|---------------|------------------|
| 1. 開会            | 18:30-18:40   |                  |
| 2. 施策08 「健康支援」   | 18:40-19:00   | (20分)            |
| 施策09 「生活安全」      | 19:00-19:20   | (20分)            |
| 施策10 「消防・防災」     | 19:20-19:40   | (20分)            |
| 施策11 「地域経済・雇用就労」 | } 19:40-20:10 | (30分)<br>※合わせて審議 |
| 施策12 「環境保全・創造」   |               |                  |
| 施策13 「都市機能・住環境」  | 20:10-20:30   | (20分)            |
| 3. 閉会            | 20:30         | 終了               |



The background features a faint, circular seal of Amagasaki City. The seal is composed of five interlocking petals in red, yellow, green, and blue, with a white center. Inside the seal, the Japanese text "ひと咲き" (Hito Saki) and "あまがさき" (Amagasaki) is visible in a light grey font.

# **施策08～13**

(P.60～P.71)

# 施策8(20分)

施策

## 8

### 健康支援

#### 1 現状と課題

##### 現状(成果)

###### 健康を取り巻く状況

「地域いきいき健康プランあまがさき」を策定するとともに、尼崎市医師会などの関係団体と連携しながら、心と体の健康課題に包括的に取り組んでいます。

###### 「ヘルスアップ尼崎戦略」の推進

ライフステージに応じた健康づくりへの支援として「ヘルスアップ尼崎戦略」を全庁横断的に推進し、各保健・検診の受診勧奨を進めています。こうした「対症」から「予防」の取組へと転換し、健康寿命の延伸とともに、結果としての医療費・介護給付費などの適正化も図られています。



###### 市内全域で歩きタバコを禁止した「尼崎市たばこ対策推進条例」の制定

平成30年(2018年)6月に「尼崎市たばこ対策推進条例」を制定し、健康増進法改正の趣旨を踏まえながら、地域と連携し一体となって受動喫煙防止に努める取組を進めています。

###### 感染症対策や食品・環境衛生の取組

保健所と衛生研究所が連携し、疫学的疫学調査やデータ分析を行うことで感染症の拡大防止を図るとともに、必要な医療などを提供するための取組を進めています。また、食品衛生や環境衛生など衛生的な生活環境の構築に努めています。

###### 基金の設置など動物愛護の取組

地域における動物愛護及び適正飼養などの推進のため、動物愛護基金を活用するとともに、市民・事業者等と協働で取組を進めています。

##### 主な課題

###### 市民の健康に関するデータの分析・検証と活用

「ヘルスアップ尼崎戦略」を進めてきたことによる検診データなどの分析を進め、さらなる効果検証を行うことで、今後の取組につなげることが必要です。

###### 受診率の向上に向けた取組

本市においては、全年齢の死因として、悪性新生物\*や心疾患の割合が高いことから、引き続きこれらの疾病予防に向けた各保健・検診の受診率の向上が喫緊の課題です。



###### たばこ対策のさらなる推進

「尼崎市たばこ対策推進条例」にもとづいて、受動喫煙防止の取組を進めているものの、路上喫煙禁止区域の拡大や、歩きタバコ禁止の周知・徹底などが課題です。

###### アスベスト健康被害への取組

アスベストによる健康不安を感じている方に健康相談や検診を実施するとともに、石棉健康被害に係る救済制度の周知に努めるなど、引き続き支援が必要です。

###### 一次救急医療\*体制の機能充実

一次救急医療体制のさらなる機能充実のため、休日夜間救急診療所の老朽化や感染症への対策を見据えた環境整備が必要です。

###### 地域との協働に向けた環境づくり

市民主体の健康づくりや多世代育育問題の予防と早期発見のため、市民・事業者等と連携するとともに、それぞれが主体的に行動できる環境づくりが重要です。

#### 【現状】

- ① 健康を取り巻く状況
- ② 「ヘルスアップ尼崎戦略」の推進
- ③ 市内全域で歩きタバコを禁止した「尼崎市たばこ対策推進条例」の制定
- ④ 感染症対策や食品・環境衛生の取組
- ⑤ 基金の設置など動物愛護の取組

#### 【課題】

- ① 市民の健康に関するデータの分析・検証と活用
- ② 受診率向上に向けた取組
- ③ たばこ対策のさらなる推進
- ④ アスベスト健康被害への取組
- ⑤ 一次救急医療体制の機能充実
- ⑥ 地域との協働に向けた環境づくり

#### 【課題の内容】

- 死因として、がんや心疾患の割合が高いため、各種健・検診の受診率の向上
- 受動喫煙防止の取組の推進
- アスベスト被害にかかる救済制度の周知

#### 【最近の社会課題等】

- ① 超高齢化社会を迎えることによる、医療・健康への影響
  - ・ 社会保険料の負担増、医療など需要増、医療関係者の人材不足が進む
- ② 生活習慣病の予防やフレイル予防による 健康寿命の延伸
  - ・ 地域における健康づくりの推進
- ③ こころとからだの健康
  - ・ 悩みやストレスを抱える人の増加、飲酒や喫煙及び受動喫煙の影響
- ④ 大規模感染症への対策強化
  - ・ 新型コロナ感染症への対応の振り返りなど

# お話ししたいテーマ（20分）

## 【現状】

- ① 健康を取り巻く状況
- ② 「ヘルスアップ尼崎戦略」の推進
- ③ 市内全域で歩きタバコを禁止した「尼崎市たばこ対策推進条例」の制定
- ④ 感染症対策や食品・環境衛生の取組
- ⑤ 基金の設置など動物愛護の取組

## 【課題】

- ① 市民の健康に関するデータの分析・検証と活用
- ② 受診率向上に向けた取組
- ③ たばこ対策のさらなる推進
- ④ アスベスト健康被害への取組
- ⑤ 一次救急医療体制の機能充実
- ⑥ 地域との協働に向けた環境づくり

## 【最近の社会課題等】

- ① 超高齢化社会を迎えることによる、医療・健康への影響  
・ 社会保険料の負担増、医療など需要増、医療関係者の人材不足が進む
- ② 生活習慣病の予防やフレイル予防による 健康寿命の延伸  
・ 地域における健康づくりの推進
- ③ こころとからだの健康  
・ 悩みやストレスを抱える人の増加、飲酒や喫煙及び受動喫煙の影響
- ④ 大規模感染症への対策強化  
・ 新型コロナウイルス感染症への対応の振り返りなど

## 【お話ししたいテーマ例】

- ① 超高齢化社会へ
- ② 健康で長生きするために
- ③ 健康診断やがん検診の受診率
- ④ 地域での健康づくり
- ⑤ 生活習慣病の予防
- ⑥ こころとからだの健康
- ⑦ 喫煙及び受動喫煙の影響
- ⑧ 大規模感染症への対策
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症の振り返り

・・・など。

# 施策9(20分)

施策

## 9

### 生活安全

#### 1 現状と課題

##### 現状(成果)

###### 刑法犯認知件数の激減

発生件数の多かった街頭犯罪(ひったくり、自転車盗)に対し、警察などと連携しさまざまな取組を進めたことで、刑法犯全体も減少し、大幅に本市の治安は改善しています。



(資料) 兵庫県警本部の犯罪統計書(2021年は兵庫県警本部ホームページ)

###### 戦略的な防犯対策の実施

可動式防犯カメラの運用や防犯パトロール、特殊詐欺対策などの防犯対策を総合的に実施するなか、犯罪状況や緊急時の対応方針を定めた「防犯戦略」を令和2年度(2020年度)に策定しました。

###### 暴力団排除活動の推進

市民が行う暴力団排除事務所に対する使用禁止仮処分申請などの支援や全国初となる暴力団関連施設の見取りなど、暴力団排除に向けて先進的な取組を進めました。

###### 消費生活相談の多様化

消費者トラブルの相談件数は、平成25年度(2013年度)の3,392件から令和3年度(2021年度)の3,526件へ約4%増加しています。また、相談内容は、デジタル化の進展により、急速に複雑化・多様化しています。

###### 交通人身事故認知件数の減少

交通人身事故認知件数は平成25年(2013年)の2,441件から令和3年(2021年)の1,347件へ約45%減少していますが、県の減少率を下回っています。

###### 自転車の都市課題を都市魅力に

駅前の英観を損ねていた不法駐輪対策を集中的に進めるなどし、放置自転車台数は激減し、自転車台数の減少にもつながるなど、自転車政策における「都市課題」は改善が進んでいます。

##### 主な課題

###### 戦略的な防犯対策の継続

引き続き「防犯戦略」にもとづき防犯事業を進めていきますが、今後の市域の犯罪発生状況に応じ、方針を見直しながら迅速かつ柔軟に対応していくことが重要です。

###### 時代の変化に応じた消費者トラブルの対応

高齢者や成年年齢が引き下げられた若年者など、消費者被害に遭いやすい市民の消費者トラブルの増加や、さらなるデジタル化の進展によるサービスの多様化に伴う新たな消費者トラブルの発生が見込まれることから、こうした変化に迅速に対応していく必要があります。

###### 超高齢社会などに対応した交通安全対策

さらなる交通事故の減少に向けて交通事故の多い就業層や高齢者層をはじめ、人口増加がみられる外国籍住民など多様な市民に対する交通ルールへの周知や啓発が求められます。

###### 新たなモビリティへの安全対策

1〜2人乗り程度の超小型自転車や電動キックボードなど、新たなモビリティの実用化を見据えた安全対策の検討が必要です。

###### 自転車を魅力に変える取組の具体化

引き続き不法駐輪などの課題解決に取り組みつつ、自転車を「都市魅力」へと変える、観光、環境、健康などの具体的な事業の検討と、それらを支える道路や駐輪場の整備といった基盤づくりが課題です。



###### ルール遵守やマナー向上の取組の拡大

犯罪情勢が一定改善しているなか、自転車の運転、ごみの分別、ポイ捨て、喫煙などのルール遵守やマナー向上の取組が必要となっており、現行のルール遵守の取組の継続のほか、市の魅力向上の観点から、マナー向上の取組の拡大や体制の整備が必要です。

#### 【現状】

- ① 刑法犯認知件数の激減
- ② 戦略的な防犯対策の実施
- ③ 暴力団排除活動の推進
- ④ 消費生活相談の多様化
- ⑤ 交通人身事故認知件数の減少
- ⑥ 自転車の都市課題を都市魅力に

#### 【課題】

- ① 戦略的な防犯対策の継続
- ② 時代の変化に応じた消費者トラブルの対応
- ③ 超高齢社会などに対応した交通安全対策
- ④ 新たなモビリティへの安全対策
- ⑤ 自転車を魅力に変える取組の具体化
- ⑥ ルール遵守やマナー向上の取組の拡大

#### 【課題の内容】

- ・ 犯罪発生状況に応じた防犯対策の継続
- ・ 多様化する消費者トラブルへの対応
- ・ 高齢者等への交通安全啓発
- ・ ルール・マナーの取組による魅力向上

#### 【最近の社会課題等】

- ① 犯罪件数(窃盗・詐欺など)の全国的な増加
  - ・ コロナ禍以降の社会活動の再開・人流回復
  - ・ SNSでの詐欺、街頭犯罪の増加など
- ② 交通安全対策の強化
  - ・ 自転車のヘルメット努力義務化
  - ・ ながらスマホ、酒気帯び運転の罰則強化 → 来年4月から反則金の対象に
  - ・ 高齢ドライバーの技能検査の導入、自転車専用レーンの整備
- ③ 多様化する犯罪手口
  - ・ SNSやマッチングアプリを利用した詐欺
  - ・ 闇バイト、オンラインカジノの取締り
  - ・ デジタルリテラシーの向上



## 施策9(20分)

### 【現状】

- ① 刑法犯認知件数の激減
- ② 戦略的な防犯対策の実施
- ③ 暴力団排除活動の推進
- ④ 消費生活相談の多様化
- ⑤ 交通人身事故認知件数の減少
- ⑥ 自転車の都市課題を都市魅力に

### 【課題】

- ① 戦略的な防犯対策の継続
- ② 時代の変化に応じた消費者トラブルの対応
- ③ 超高齢社会などに対応した交通安全対策
- ④ 新たなモビリティへの安全対策
- ⑤ 自転車を魅力に変える取組の具体化
- ⑥ ルール遵守やマナー向上の取組の拡大

### 【課題の内容】

- ・ 犯罪発生状況に応じた防犯対策の継続
- ・ 多様化する消費者トラブルへの対応
- ・ 高齢者等への交通安全啓発
- ・ ルール・マナーの取組による魅力向上

### 【最近の社会課題等】

- ① 犯罪件数（窃盗・詐欺など）の全国的な増加
  - ・ コロナ禍以降の社会活動の再開・人流回復
  - ・ SNSでの詐欺、街頭犯罪の増加など
- ② 交通安全対策の強化
  - ・ 自転車のヘルメット努力義務化
  - ・ ながらスマホ、酒気帯び運転の罰則強化 → 来年4月から反則金の対象に
  - ・ 高齢ドライバーの技能検査の導入、自転車専用レーンの整備
- ③ 多様化する犯罪手口への対応
  - ・ SNSやマッチングアプリを利用した詐欺
  - ・ 闇バイト、オンラインカジノの取締り
  - ・ デジタルリテラシーの向上

### 【お話しいただきたいテーマ例】

- ① コロナ禍以降の人流回復による犯罪の増加
- ② SNS等を利用した詐欺
- ③ 街頭犯罪の増加
- ④ 尼崎市の体感治安
- ⑤ 自転車ヘルメット努力義務化
- ⑥ ながらスマホ、酒気帯び運転の罰則強化
- ⑦ 高齢ドライバーの安全対策
- ⑧ 多様化する犯罪手口
- ⑨ 闇バイト・オンラインカジノ
- ⑩ デジタルリテラシーの向上  
・・・など。

# 施策10(20分)

施策

## 10 消防・防災

### 1 現状と課題

#### 現状(成果)

##### 災害状況(火災・救助・救急)の変化

高齢化の進行に伴い、救急件数や室内における閉じ込め救助件数の増加傾向がみられます。また建物の不燃化や生活様式などの変化、市や警察での防火・防犯事業の取組強化などにより、火災件数は減少傾向となっています。



##### 消防体制を取り巻く社会情勢の変化

地域防災の担い手である消防団員数の減少や、消防活動拠点である消防署所の老朽化が進んでいます。

##### 市の防災体制における基盤づくり

防災担当部署の設置など市の組織体制の整備、ハザードマップや各種マニュアルの作成、平成30年度(2018年度)の台風被害における情報管理上の教訓をもとに、災害情報を一元的に集約・共有する災害マネジメントシステムを導入するなど、防災体制の基盤づくりを進めています。

##### 要配慮者(災害時要援護者)支援の推進

避難支援等関係者への避難行動要支援者名簿\*の提供や福祉避難所の指定を進めるとともに、令和2年度(2020年度)から要支援者や避難場所などを一元管理する要支援者システムを導入しました。また、5地区の自主防災会などと避難行動要支援者ごとの個別避難計画\*の試行的作成に取り組むなど、地域で支えあう「共助」による避難支援体制づくりを進めています。

#### 主な課題

##### 社会情勢に柔軟に対応できる消防体制の構築

高齢化の進行に伴う救急件数のさらなる増加への組織的対応と、救急車の適正利用の啓発、また人口減少に伴う消防署所の適正配置の検討が課題です。

##### 火災予防の取組の推進

火災発生の未然防止、被害の軽減のため、引き続き消防法令違反対象物の是正を推進していく必要があります。

##### 消防力維持・向上のための人材育成

火災件数の減少による現場経験不足を補うため、消防職員に対する各種訓練の充実化による人材育成と地域防災の要である消防団員を確保するための方策の検討が課題です。

##### 大規模災害など危機事象への継続した備え

南海トラフ地震に伴う津波や、異常気象に伴う高潮・豪雨に加え、パンデミックなどの危機事象に備え、引き続き市の防災体制や関係機関との連携を強化し、防災訓練や災害用備蓄品など、日常からの対策を充実させていくことが必要です。

##### 災害情報などの確実な伝達

これまで構築してきた多層的な情報伝達\*手段を効果的に活用し、災害情報などの確実な伝達や市民の避難行動につなげていくことが課題です。

##### 要配慮者(災害時要援護者)の避難支援

要配慮者(災害時要援護者)の避難支援体制づくりには、地域住民・福祉専門職などの連携や、災害時に支援・配慮を要する人が安心して避難できるように、多様な避難先の確保や避難所運営などに係る手順の整理を行うとともに、市民への効果的な周知が課題です。

### 【現状】

- ① 災害状況(火災・救助・救急)の変化
- ② 消防体制を取り巻く社会情勢の変化
- ③ 市の防災体制における基盤づくり
- ④ 要配慮者(災害時要援護者)支援の推進

### 【課題】

- ① 社会情勢に柔軟に対応できる消防体制の構築
- ② 火災予防の取組の推進
- ③ 消防力維持・向上のための人材育成
- ④ 大規模災害など危機事象への継続した備え
- ⑤ 災害情報などの確実な伝達
- ⑥ 要配慮者(災害時要援護者)の避難支援

### 【課題の内容】

- ・ 高齢化に伴う救急件数の増加、救急車の適正利用の啓発
- ・ 要配慮者の避難支援体制づくり
- ・ 危機事象への継続した備え、多層的な情報伝達

### 【最近の社会課題等】

- ① 高齢化に伴う救急件数の全国的な増加、消防力の維持向上
  - ・ 救急車適正利用の啓発、#7119の導入
  - ・ 消防団員の減少・高齢化
- ② 令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応力の強化
  - ・ 「場所(避難所)の支援」だけでなく「人(避難者等)の支援」も重視
  - ・ 在宅避難者、車中泊避難者への支援
  - ・ 避難所の生活環境改善
  - ・ 地域防災の担い手不足
  - ・ 高齢者や外国人など、様々な住民への支援
- ③ 要配慮者(高齢者・障害者など)の避難支援体制づくり
  - ・ 「要配慮者のひとり一人の避難方法」をまとめた個別避難計画作成の努力義務化



# 施策10(20分)

## 【現状】

- ① 災害状況（火災・救助・救急）の変化
- ② 消防体制を取り巻く社会情勢の変化
- ③ 市の防災体制における基盤づくり
- ④ 要配慮者（災害時要援護者）支援の推進

## 【課題】

- ① 社会情勢に柔軟に対応できる消防体制の構築
- ② 火災予防の取組の推進
- ③ 消防力維持・向上のための人材育成
- ④ 大規模災害など危機事象への継続した備え
- ⑤ 災害情報などの確実な伝達
- ⑥ 要配慮者（災害時要援護者）の避難支援

## 【課題の内容】

- ・ 高齢化に伴う救急件数の増加、救急車の適正利用の啓発
- ・ 要配慮者の避難支援体制づくり
- ・ 危機事象への継続した備え、多層的な情報伝達

## 【最近の社会課題等】

- ① 高齢化に伴う救急件数の全国的な増加、消防力の維持向上
  - ・ 救急車適正利用の啓発、#7119の導入
  - ・ 消防団員の減少・高齢化
- ② 令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応力の強化
  - ・ 「場所（避難所）の支援」だけでなく「人（避難者等）の支援」も重視
  - ・ 在宅避難者、車中泊避難者への支援
  - ・ 避難所の生活環境改善
  - ・ 地域防災の担い手不足
  - ・ 高齢者や外国人など、様々な住民への支援
- ③ 要配慮者（高齢者・障害者など）の避難支援体制づくり
  - ・ 「要配慮者のひとり一人の避難方法」をまとめた個別避難計画作成の努力義務化

## 【お話しいただきたいテーマ例】

- ① 救急件数の増加
- ② 救急車の適正利用、#7119
- ③ 消防団員の減少・高齢化
- ④ 「場所の支援」だけでなく「人の支援」も
- ⑤ 在宅、車中泊避難者の支援
- ⑥ 避難所の生活環境改善
- ⑦ 地域防災の担い手不足
- ⑧ 高齢者や外国人など、様々な住民への支援
- ⑨ 要配慮者の避難支援
- ・・・など。

# 施策11(30分)

施策

## 11

### 地域経済・雇用就労

#### 1 現状と課題

##### 現状(成果)

###### 新型コロナウイルス感染症による経済への打撃

新型コロナウイルス感染症の影響で地域経済の停滞や市民生活に甚大な影響を及ぼしています。



###### 減少傾向にある市内事業所数

本市産業の中核を担う製造業などでは事業所数、従業員数ともに減少傾向であり、災害などでの事業中断・廃業によるさらなる事業所数の減少の恐れがあります。

###### 電子地域通貨「あま咲きコイン」の導入

電子地域通貨「あま咲きコイン」を導入し、地域内経済(商業)の活性化、SDGsの推進などに努めています。また、SDGsに積極的に取り組む企業を「あまがさきSDGsパートナー」として登録・周知し、市内のSDGs達成に向けた取組を進めています。

###### 認定農業者制度への取組

全体の農業者数が減少傾向にある一方で、本市の都市農業の担い手となり積極的に農業に取り組む「認定農業者」については増加傾向にあり、次世代の農業の担い手としての「認定新規就農者」とともに市内農業の活性化につながることが期待されます。

###### インターンシップなどを通じた人材育成支援

特に若者の労働力人口の減少と企業での従業員不足の状況が生じているなか、民間企業型インターンシップを実施し、学生の社会人としての基礎的な能力の向上と、企業の就職解決や社内人材育成の一助となる取組などを進めています。

###### 観光のまちづくり

平成29年度(2017年度)に設立した「あまがさき観光局」を核として多様な主体が連携し、居前域を含む阪神尾道新開道のエリアを重点的に、観光地域づくりの取組を進めています。新型コロナウイルス感染症の影響で観光客数が減少しています。

##### 主な課題

###### イノベーション促進に向けた環境づくりの強化

既存事業者の成長分野への展開や第二創業、脱炭素やSDGsなどをビジネスチャンスと捉えた新たなイノベーション創出への支援や、競争力の向上に向けた、各事業者のニーズや得意になった環境づくりの強化が課題です。

###### イノベーションに向けて新たな事業にチャレンジする人や事業所数の推移



###### 製造業などの支援

主力である製造業において、競争力を高め持続的に発展していくため、生産活動の向上に資する対策を進めることが課題です。

###### 市内での事業継続の支援

産業の新陳代謝の観点から、市内での事業継続や事業承継を望む経営者に対しては、災害や後継者不足などによる事業中断や廃業を防ぐ、早急な支援を進めることが課題です。

###### 「あま咲きコイン」の効果的な活用

地域内の経済循環の促進に向けた「あま咲きコイン」の利用拡大と地域に根差した持続可能な仕組みづくりが課題です。

###### 営農支援

市内農業者が営農を継続できるようにするため、認定農業者制度の推進や新たな担い手による農地活用など、各農業者のニーズに応じた持続的な支援が重要です。

###### 職住近接を生かしたきめ細やかな雇用就労支援

企業では従業員不足の一方で、さまざまな層性の求職者がいるなか、的確なマッチングを進めることが当面の課題ですが、雇用情勢などに柔軟に対応する支援策を進めることが本市における職住近接を生かした雇用就労支援を実現するためには重要です。

###### 市内産業としての観光の育成

観光を市内産業として育てるため、観光需要回復を見据えた事業の検討や観光関係者との連携が課題です。また、阪神尾道新開道のエリアが一体となったにぎわいの創出が重要です。

#### 【現状】

- ① 新型コロナウイルスによる経済への打撃
- ② 減少傾向にある市内事業所数
- ③ 電子地域通貨「あま咲きコイン」の導入
- ④ 認定農業者制度の取組
- ⑤ インターンシップなどを通じた人材育成支援
- ⑥ 観光のまちづくり

#### 【課題】

- ① イノベーション促進に向けた環境づくりの強化
- ② 製造業などの支援
- ③ 市内での事業継続の支援
- ④ 「あま咲きコイン」の効果的な活用
- ⑤ 営農支援
- ⑥ 職住近接を生かしたきめ細やかな雇用就労支援
- ⑦ 市内産業としての観光の育成

#### 【課題の内容】

- ・イノベーションの促進、市内産業の競争力強化
- ・職住近接を生かした雇用就労支援
- ・地域経済の活性化や循環の促進
- ・観光振興と都市魅力向上

#### 【最近の社会課題等】

- ① 新たな価値の創出(イノベーション)や新技術・新事業の成長を推進
  - ・シェアリングエコノミー(モノやサービスを貸し借りして必要なときだけ使う仕組み)
- ② 多様な人材の活躍を推進
  - ・女性の活躍、女性管理職の登用、柔軟な働き方の推進
  - ・高齢者の就業機会の確保(70歳まで努力義務化)・障害者の法定雇用率の引き上げ
- ③ 外国人労働力の確保
  - ・国内の人手不足解消のため、外国人材の確保と長期的な定着を推進
- ④ リ・スキリング(学び直し)の推進
  - ・人材不足を受け、新しい職業や業務への対応のため「リ・スキリング」の推進
- ⑤ インバウンド回復戦略
  - ・コロナ後のインバウンド回復に向けた観光地域づくり

# 施策12(30分)

施策

## 12

## 環境保全・創造

### 1 現状と課題

#### 現状(成果)

##### 脱炭素社会に向けた「尼崎市気候非常事態行動宣言」

令和32年(2050年)までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする脱炭素社会の実現をめざし、「尼崎市気候非常事態行動宣言」を表明しました。目標達成のため、中間の時期である令和12年度(2030年度)における二酸化炭素排出量を、平成25年度(2013年度)比で50%以上削減することをめざしています。

##### 環境学習・啓発の取組

「あまがさき環境オープンカレッジ」など協働による環境学習・啓発を行っているほか、森林環境課と連携して「木育」や、学校教育における環境教育にも取り組んでいます。

##### 循環型社会をめざし、「一般廃棄物処理基本計画」を策定

市民・事業者等とともに取組を進め処理対象ごみが減少傾向にあるなか、令和2年度(2020年度)に循環型社会の形成をめざし、「一般廃棄物処理基本計画」を策定しました。

計画では令和12年度(2030年度)までに焼却対象ごみ量を令和元年度(2019年度)比で11%削減することを目標とし、あわせて、老朽化しているごみ処理工場などを集約化し、令和13年度(2031年度)稼働を目標に新ごみ処理施設を整備する予定としています。



##### 大気汚染など環境問題への取組

過去にみられた大気汚染、水質汚濁などの状況は市民・事業者等との取組により改善されていますが、日常の環境監視などにより保全に努めています。

##### 自然や生き物の大切さについての啓発

臨海部における尼崎21世紀の森づくりなど、市民団体との協働による生物の生態・生育環境を維持・保全する取組が行われています。また、生産基盤である農地面積は少しずつ減少していますが、「都市にあるべき農地」として農地保全に取り組んでいます。

#### 主な課題

##### 脱炭素社会の実現に向けた取組の推進

脱炭素社会の実現に向け、省エネ対策に加え、二酸化炭素の排出を伴わないエネルギーの普及拡大が課題です。既存の社会システム・インフラを変革していくために経済的・技術的な課題にも対応しながら脱炭素社会に移行する必要があります。



##### 循環型社会の実現に向けた取組の推進

目標達成を前提とした新ごみ処理施設の整備が控えるなか、より一層のごみ減量を求めることが課題です。また、ごみ減量の取組のなかで、食品ロスやプラスチックごみの削減、さらにはサーキュラーエコノミーの実現といった世界的な課題にも対応していく必要があります。

##### 環境学習・啓発を行動変容につなげるために

一人ひとりの日々の行動が地球規模の環境問題とながっていることを知り、環境学習・啓発や環境教育によって学んだ知識を行動に反映させていくために効果的な取組を進めることが課題です。

##### 新たな公害を発生させないために

過去の大気汚染などの歴史の教訓を生かし、引き続き環境改善に向けた取組を推進しつつ、予防的に環境問題に取り組んでいくことが必要です。

##### 生物多様性の保全・創出に向けて

生物に関する取組については、社会経済活動や日常生活はさまざまな生物多様性の恩恵に大きく依存していることなど、生物多様性の保全・創出の意義への理解を広げることが課題です。

### 【現状】

- ① 脱炭素社会に向けた「気候非常事態行動宣言」
- ② 環境学習・啓発の取組
- ③ 循環型社会をめざし「一般廃棄物処理基本計画」を策定
- ④ 大気汚染など環境問題への取組
- ⑤ 自然や生き物の大切さについての啓発

### 【課題】

- ① 脱炭素社会の実現に向けた取組の推進
- ② 循環型社会の実現に向けた取組の推進
- ③ 環境学習・啓発を行動変容につなげるために
- ④ 新たな公害を発生させないために
- ⑤ 生物多様性の保全・創出に向けて

### 【課題の内容】

- ・ 脱炭素・循環型社会の実現に向けた取組
- ・ 生物多様性の保全・創出と理解促進
- ・ 環境学習・啓発による行動変容

### 【最近の社会課題等】

- ① 脱炭素社会の実現に向けた取組
  - ・ 2050年のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）に向けた取組
  - ・ GXの推進（クリーンエネルギーへの転換で、環境と経済の両立を目指す社会変革）
- ② 循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行
  - ・ 資源を繰り返し使い、廃棄を減らして新たな価値を生む経済のしくみ
  - ・ 人や社会、環境に配慮した倫理的な消費行動（エシカル消費）の普及
  - ・ 食品ロスの削減
- ③ 生物多様性の保全
  - ・ 自然を守るだけでなく回復し、生きものや豊かな環境を未来に残す取り組み
- ④ 環境学習・環境啓発



# 施策11～12(30分)

## 施策11 地域経済・雇用就労 【最近の社会課題等】

- ① 新たな価値の創出（イノベーション）や新技術・新事業の成長を推進
  - ・シェアリングエコノミー（モノやサービスを貸し借りして、必要なときだけ使う仕組み）
- ② 多様な人材の活躍を推進
  - ・女性の活躍、女性管理職の登用、柔軟な働き方の推進
  - ・高齢者の就業機会の確保（70歳まで努力義務化）・障害者の法定雇用率の引き上げ
- ③ 外国人による労働力の確保
  - ・国内の人手不足解消のため、外国人材の確保と長期的な定着を推進
- ⑤ リ・スキリング（学び直し）の推進
  - ・人材不足を受け、新しい職業や業務への対応のため「リ・スキリング」の推進
- ⑥ インバウンド回復戦略 → コロナ後のインバウンド回復に向けた観光地域づくり

## 施策12 環境保全・創造 【最近の社会課題等】

- ① 脱炭素社会の実現に向けた取組
  - ・2050年のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）に向けた取組
  - ・GXの推進（クリーンエネルギーへの転換で、環境と経済の両立を目指す社会変革）
- ② 循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行
  - ・資源を繰り返し使い、廃棄を減らして新たな価値を生む経済のしくみ
  - ・人や社会、環境に配慮した倫理的な消費行動（エシカル消費）の普及・食品ロス
- ③ 生物多様性の保全
  - ・自然を守るだけでなく回復し、生きものや豊かな環境を未来に残す取り組み
- ④ 環境学習・環境啓発

## 【お話しいただきたいテーマ例】

- ① イノベーションの推進
- ② シェアリングエコノミー
- ③ 女性の活躍、柔軟な働き方
- ④ 高齢者・障害者の雇用
- ⑤ 外国人による労働力の確保
- ⑥ リ・スキリング（学び直し）
- ⑦ 観光地域づくり
- ⑧ 脱炭素社会、循環型社会
- ⑨ 環境と経済の両立を目指す社会変革
- ⑩ エシカル消費、食品ロス
- ⑪ 生物多様性の保全
- ・・・など。

# 施策13(20分)

施策

## 13

### 都市機能・住環境

#### 1 現状と課題

##### 現状(成果)

###### さまざまな地域特性と土地利用の変化

市内には住宅地をはじめ駅周辺、商店街、工場、農地など、さまざまな特性を持つ地域が共存しています。なかでも市内には工業系の地域が多く、産業都市である一方、近年は工場跡地の大規模な住宅開発が進むなど、住宅都市の側面が強まっており、改めて居住近接の魅力が見直されています。

###### 計画体系の見直し

分野別計画の位置付けを整理し、計画間連携を強化するため、都市計画審議会に、住宅政策、公園緑地、都市景観、住環境に関する4つの審議会の機能を統合する条例改正を行いました。その上で組織横断的に事業を推進するための組織を設置し、取組を進めています。また、住宅マスタープランの改定においては、従来からのハード整備の視点に加え、くらしというソフトの視点を取り入れた新たな計画として、令和2年度(2020年度)に「尼崎市住まいと暮らしのための計画」を策定しました。

###### 都市景観の向上

かつての工業化による景観の反面、まちなみの原風景や公営によるマイナスイメージを一新するため、全国的にも早期に「都市景観形成計画」を策定し、市民・事業者等と協力しながら、景観の改善に取り組んできました。また、「緑の基本計画」を策定し、緑を通じてまちの満足度を高めるため、緑化促進や緑化活動にも積極的に取り組んでいます。

###### 密集市街地の改善

工業都市として発展するなか、人口増加に伴い労働者向けの住宅が多数建設されたことから、本市には、現在も木造の建物が密集した密集市街地が残っており、改善に向けて中長期的に取り組んでいます。

###### 高い交通利便性

大都市近郊という立地の良さや、公共交通などの環境が一定整備され交通利便性が高いといった特性を持っていますが、高齢化や働き方の変化といった社会構造やライフスタイルの変化に伴い、移動ニーズが多様化しています。

###### 都市基盤の老朽化への対応

早くから市域全体が発展したことを背景に、道路・上下水道・公園などの都市基盤の多くが更新時期を迎えているほか、古い建物や空き家も多く存在しています。

##### 主な課題

###### 地域の特性を生かしたまちづくり・まち育て

地域の特性に応じた、土地利用の誘導や住環境の向上、商業環境への配慮、暮らしぶりやまちの魅力の発信(ブランディング)を進める必要があり、そのためには市民・事業者等との連携やその仕組みづくりが不可欠です。



###### 地域や社会状況に応じた都市景観と緑化

都市計画上の用途地域に応じた景観づくりに取り組んでいますが、地域と調和したまちなみに向け、市民・事業者等と連携し、景観向上に取り組む必要があります。また、緑化政策においては、人口減少を鑑み、樹木などの維持管理の観点も踏まえ、適正な量、質を検討していく必要があります。

###### 魅力的な住環境に向けた空き家、密集市街地の対策

今後の人口減少、高齢化に伴い空き家が増加する見込みであるため、既存ストックの有効活用や更新によってまちの魅力を高めていくなかで、密集市街地の改善などと合わせ、市民・事業者等と連携し、取組を進めていく必要があります。

###### 戦略的な交通政策

市の特性を生かした魅力あるまちづくりに向け、人の移動に影響を与える土地利用の変化を捉え、多様化する移動ニーズにも対応した総合的かつ戦略的な交通政策を推進していく必要があります。

###### 都市基盤整備における社会的課題への対応

都市基盤の老朽化に対し、日常の適切な維持管理を行いつつ計画的な更新を進める必要があります。また、更新の際は、環境負荷の軽減を意識するとともに、誰もが使いやすく、災害に強いまちをめざし、行政が行う直接的な整備だけでなく、民間主導の取組を誘導するなど、ソフト面の取組も必要です。

#### 【現状】

- ① さまざまな地域特性と土地利用の変化
- ② 計画体系の見直し
- ③ 都市景観の向上
- ④ 密集市街地の改善
- ⑤ 高い交通利便性
- ⑥ 都市基盤の老朽化への対応

#### 【課題】

- ① 地域の特性を生かしたまちづくり・まち育て
- ② 地域や社会状況に応じた都市景観と緑化
- ③ 魅力的な住環境に向けた空き家、密集市街地の対策
- ④ 戦略的な交通政策
- ⑤ 都市基盤整備における社会的課題への対応

#### 【課題の内容】

- ・ 多様な主体と連携したまちづくり、エリアブランディングの推進
- ・ 良好な都市環境の整備
- ・ 魅力的な住環境の形成・空き家対策、戦略的な交通戦略

#### 【最近の社会課題等】

- ① 地域の特色を活かしたまちづくり
  - ・ 「誰もが利用しやすく居心地のよい場」となるような公共空間の整備
  - ・ エリアごとの特色を生かした都市魅力の向上
  - ・ 空き地や空き家の活用によるにぎわいづくり・官民連携によるまちづくりの推進
- ② まちの緑を増やし質を高める取組
  - ・ 緑の面積を増やすだけでなく、生態系や自然環境の保全、人々の幸福や健康など多様な機能を発揮できるような「質」の確保
- ③ 地域交通の担い手不足、交通空白の課題 ・ シェアサイクルやオンデマンド交通の普及
- ④ インフラ老朽化対策 ・ 道路・上下水道・公園など

# 施策13(20分)

## 【現状】

- ① さまざまな地域特性と土地利用の変化
- ② 計画体系の見直し
- ③ 都市景観の向上
- ④ 密集市街地の改善
- ⑤ 高い交通利便性
- ⑥ 都市基盤の老朽化への対応

## 【課題】

- ① 地域の特性を生かしたまちづくり・まち育て
- ② 地域や社会状況に応じた都市景観と緑化
- ③ 魅力的な住環境に向けた空き家、密集市街地の対策
- ④ 戦略的な交通政策
- ⑤ 都市基盤整備における社会的課題への対応

## 【課題の内容】

- ・多様な主体と連携したまちづくり、エリアブランディング ・良好な都市環境の整備
- ・魅力的な住環境の形成・空き家対策、戦略的な交通戦略

## 【最近の社会課題等】

- ① 地域の特色を活かしたまちづくり
  - ・「誰もが利用しやすく居心地のいい場」となるような公共空間の整備
  - ・エリアごとの特色を生かした都市魅力の向上
  - ・空き地や空き家の活用によるにぎわいづくり・官民連携によるまちづくりの推進
- ② まちの緑を増やし質を高める取組
  - ・緑の面積を増やすだけでなく、生態系や自然環境の保全、人々の幸福や健康など多様な機能を発揮できるような「質」の向上
- ③ 地域交通の担い手不足、交通空白 ・シェアサイクルやオンデマンド交通の普及
- ④ インフラ老朽化対策 ・道路・上下水道・公園など

## 【お話しいただきたいテーマ例】

- ① 居心地のいい公共空間
- ② エリアごとの特色を生かしたまちづくり
- ③ 空き家の対策・活用
- ④ 官民連携のまちづくり
- ⑤ 緑地の「質」の向上
- ⑥ 地域交通の担い手不足
- ⑦ 交通空白の課題
- ⑧ シェアサイクルやオンデマンド交通の普及
- ⑨ インフラ老朽化対策  
・・・など。



## 最後に

**皆さんひとことずつ、今日のご感想をお願いします。**

- ・ 改めて伝えておきたいこと。
- ・ 大切だと思うこと、メッセージ
- ・ 印象に残ったことば
- ・ 感想・今後の議論への期待
- ・ その他 ご自由に

**一人10秒ずつをお願いします。**

